

報道関係者各位

平成24年2月16日
株式会社 ネグジット総研
MMPR事業部

【服薬指導に関する薬剤師の意識調査】
慢性疾患でコンプライアンスが悪い患者さんの「服薬意識の低い理由」は
「自覚症状がない」「効果を実感できない」が主な要因

医療経営コンサルティング、薬剤師を対象としたプロモーション及び調査を行う株式会社ネグジット総研(所在地：兵庫県神戸市、代表取締役社長：八田 光)は、自社で保有する薬剤師調査モニター242名(保険薬局：182名 病院・診療所・クリニック：53名 ドラッグストア：7名)を対象に「服薬指導に関する薬剤師の意識調査」を実施し、結果を公開いたしました。

■ 調査結果・トピックス

- ・ 薬剤師は、慢性疾患でコンプライアンスの悪い患者さんについて、服薬の意識が低い要因を、「(患者さんに)自覚症状がない」「(患者さんが)効果を実感できない」と感じている。
- ・ アドヒアランスの向上、薬剤師の職能発揮のため、薬剤師が不足していると感じている患者情報は、「検査値」だけでなく「疾患名」の情報も不足。
- ・ 疾患名に関する情報が充実することで「適切な薬剤への処方変更」「副作用の早期把握」「処方変更の提案」や「コンプライアンスの改善」、検査値の情報が充実することで「薬の副作用を正確に発見できる」服薬や指導の充実などの業務変化が可能とする回答があった。

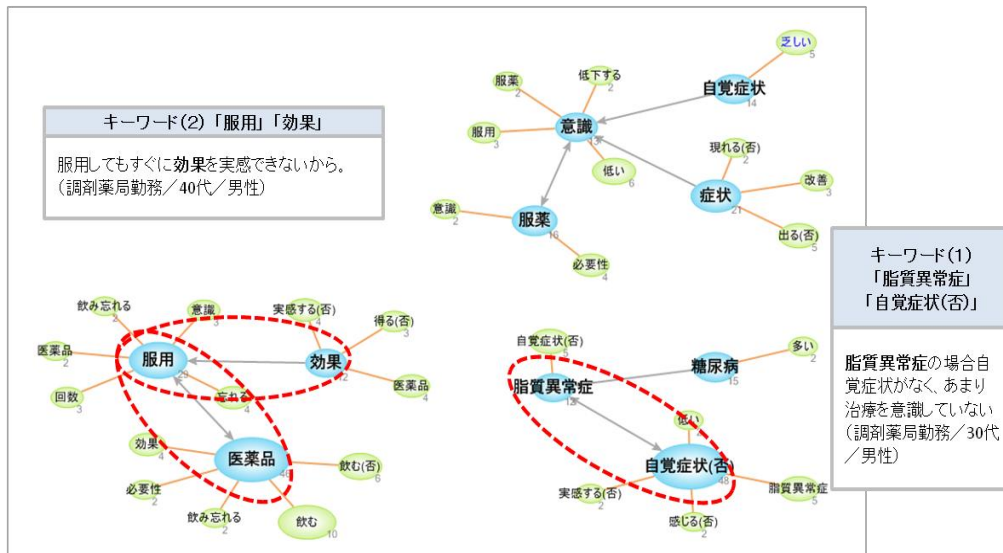
【問】慢性疾患でコンプライアンスの悪い患者さんについて、『服薬の意識が低い理由』を具体的に教えてください。(自由回答)

自由記述回答をテキストマイニングで分析した結果、「自覚症状がない<自覚症状(否)>」、「医薬品」、「多い」といった単語が上位を占めました。また、「自覚症状がない」は「脂質異常症」、「医薬品」は「服用」・「効果」といった単語と関連があり、薬剤師は、服薬の意識が低い要因を、「(患者さんに)自覚症状がない」「(患者さんが)効果を実感できない」と感じている傾向がわかりました。

■ 頻出単語のランキング 上位20単語

No.	単語	件数	割合	No.	単語	件数	割合
1	自覚症状(否)	48	6.8%	11	意識	13	1.9%
2	医薬品	46	6.6%	12	悪い	12	1.7%
3	多い	33	4.7%	13	効果	12	1.7%
4	服用	29	4.1%	14	脂質異常症	12	1.7%
5	飲む	22	3.1%	15	低い	11	1.6%
6	症状	21	3.0%	16	忘れる	11	1.6%
7	飲む(否)	17	2.4%	17	コンプライアンス	10	1.4%
8	服薬	16	2.3%	18	高い	10	1.4%
9	糖尿病	15	2.1%	19	症状(否)	10	1.4%
10	自覚症状	14	2.0%	20	理解する(否)	9	1.3%

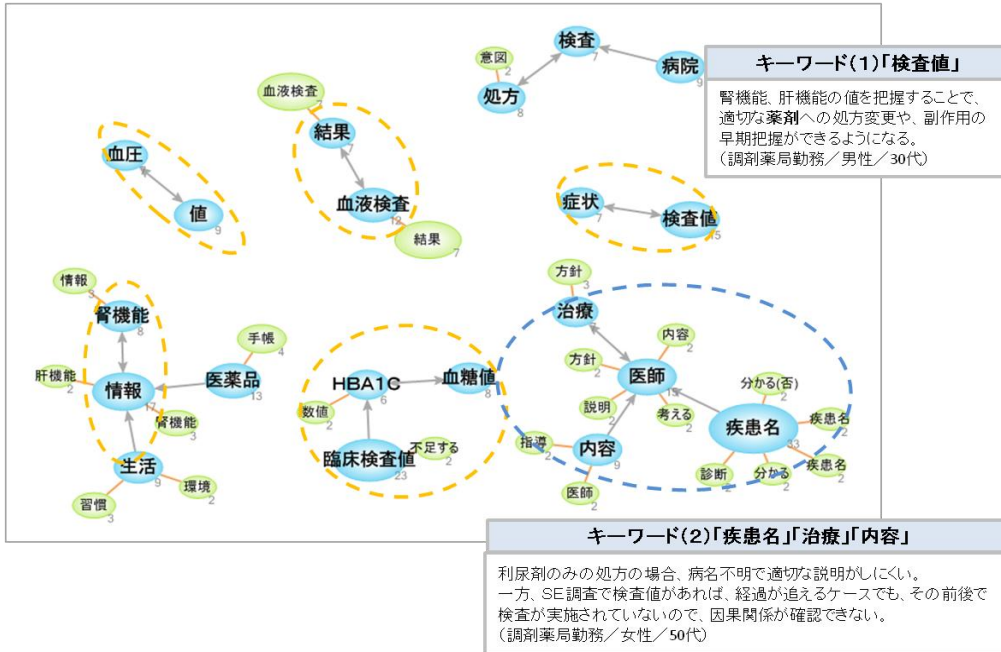
■ マッピング(頻出する上位単語と、関連する単語)



【問】アドヒアランスの向上、薬剤師の職能発揮のため、『患者さんの症状』や『臨床検査値』などの情報で、不足している患者情報を教えてください。（自由回答）

自由記述回答をテキストマイニングで分析した結果、「血糖値」、「腎機能」、「血圧」などの検査値に関する回答、「疾患名」、「治療」に関する回答が多かった。薬剤師が不足していると感じている患者情報は、「検査値」だけでなく「疾患名」の情報も不足している傾向がわかりました。

■マッピング(頻出する上位単語と、関連する単語)



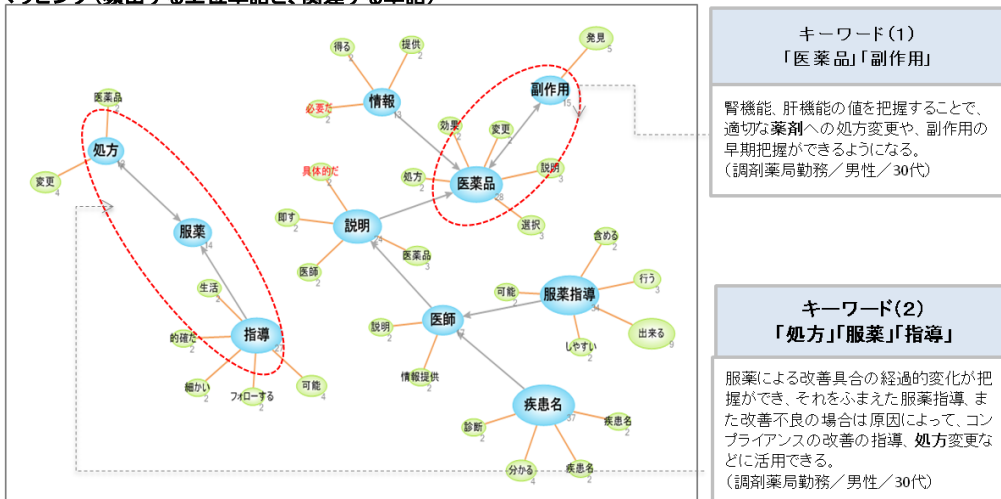
【問】上記情報（※アドヒアランスの向上、薬剤師の職能発揮のため、『患者さんの症状』や『臨床検査値』などの情報で、不足している患者情報）が充実することで、どのような業務変化が可能になるか教えてください。

自由記述回答を、薬剤師が不足している患者情報（「疾患名」、「検査値」）を属性に、テキストマイニングで分析した結果、次の傾向がありました。

(A) 不足している患者情報「疾患名」を充実させることで可能となる業務変化

不足している患者情報に「疾患名」を回答したグループは、業務に関連するキーワードとして、「医薬品」と「副作用」、「処方」と「服薬」「指導」に関する回答が多かった。疾患名に関する情報が充実することで「適切な薬剤への処方変更」「副作用の早期把握」「処方変更の提案」や「コンプライアンスの改善」などの業務変化が可能とする回答があった。

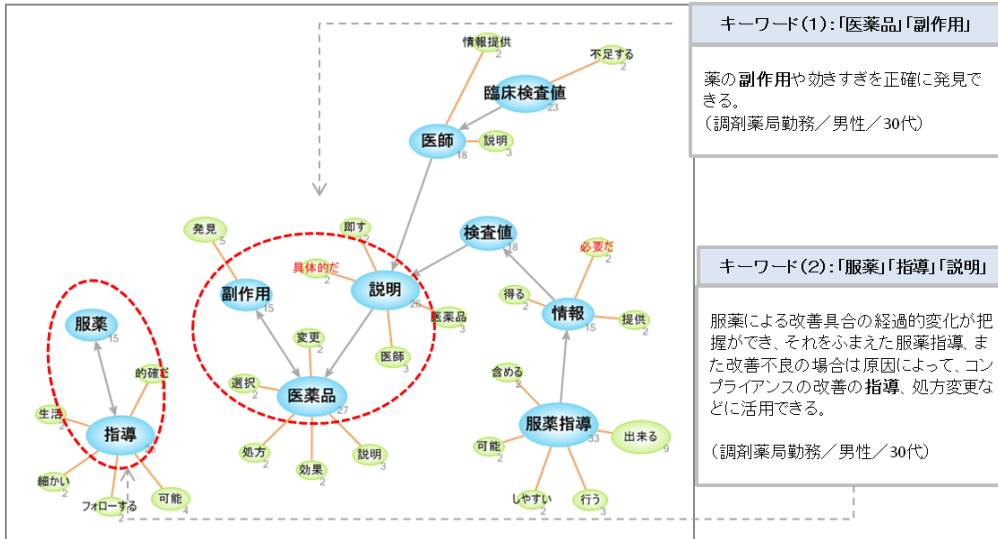
■マッピング(頻出する上位単語と、関連する単語)



(B) 不足している患者情報「検査値」を充実させることで可能となる業務変化

不足している患者情報に「検査値」を回答したグループは、業務に関連するキーワードとして、「医薬品」と「副作用」「説明」、「服薬」と「指導」に関する回答が多かった。検査値の情報が充実することで「薬の副作用を正確に発見できる」「服薬」や指導の充実が可能になるなどの業務変化が可能となる回答があった。

■ マッピング(頻出する上位単語と、関連する単語)



■ 調査概要

調査期間	2011年11月1日～11月15日
調査サンプル数	242名(保険薬局:182名 病院・診療所・クリニック:53名 ドラッグストア:7名)
調査方法	WEBアンケート
設問内容	<p>【問】 慢性疾患でコンプライアンスの悪い患者さんについて、『服薬の意識が低い理由』を具体的に教えて下さい。</p> <p>【問】 アドヒアランスの向上、薬剤師の職能発揮のため、『患者さんの症状』や『臨床検査値』などの情報で、不足している患者情報を教えて下さい。</p> <p>【問】 上記情報(※アドヒアランスの向上、薬剤師の職能発揮のため、『患者さんの症状』や『臨床検査値』などの情報で、不足している患者情報)が充実することで、どのような業務変化が可能になるか教えて下さい。</p>

MMP R (メディカル・マーケティング・プロモーション・リサーチ) 事業部
 薬剤師調査MMP R (メディカル・マーケティング・プロモーション・リサーチ) では、薬局・薬剤師を対象に後発品や企業イメージ、製品使用状況など幅広く調査を実施しております。

会社概要

会社名 : 株式会社ネグジット総研
 代表者 : 代表取締役社長 八田 光
 設立 : 1977年9月28日
 所在地 : 兵庫県神戸市中央区江戸町85-1 ペイ・ウィング神戸ビル5F
 事業内容 : 企業経営・医療経営の総合コンサルティングサービス
 U R L : <http://www.nextit.co.jp>

[本件に関するお問合せ]
 株式会社ネグジット総研 MMI URL : <http://www.mmpr.jp>
 〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町85-1 ペイ・ウィング神戸ビル5F
 TEL (078) 393-2151 FAX (078) 393-2180
 E-mail mmpr@yakuzai-shi-di.net